

# 第7回 国分川調節池を育む会

日時：平成20年9月27日(土)

10時～12時

場所：曾谷公民館第一・第二研修室

## 次 第

- 1．あいさつ
- 2．全体会
  - ・第6回育む会の報告
- 3．検討部会
  - ・詳細な利用方法、運営管理方法に関する検討
- 4．全体会
  - ・検討部会による検討結果の報告、調整
  - ・その他

### <資料>

- 1．これまでの概要【資料1】
- 2．第6回国分川調節池を育む会での検討部会の意見【資料2】
- 3．国分川調節池上部利用の検討に関する  
市川市の基本的な考え方について【資料3】
- 4．検討部会様式【資料4】
- 5．検討部会名簿【資料5】

事務局（市川市役所 水と緑の計画課）

TEL:047-332-8740（直通） FAX:047-332-8748

メールアドレス

mizutomidorinokeikaku2@city.ichikawa.chiba.jp

## 国分川調節池を育む会 これまでの概要

## 第 1 回

日 時：平成 19 年 6 月 10 日（日）14:00～16:00  
場 所：曾谷公民館第 3 研修室  
議 題：趣旨説明 基本計画の概要について  
事業スケジュールについて 今後の進め方について  
決定事項：会員名簿の配布 マスコミによる取材 会議の公開

## 第 2 回

日 時：平成 19 年 8 月 11 日（土）9:30～11:40  
場 所：大柏川第一調節池及びビジターセンター  
内 容（1）大柏川第一調節池の見学  
（2）議題  
第 1 回国分川調節池を育む会会報の確認及び質問シートの回答に  
ついて  
大柏川第一調節池の見学内容等について  
会則について 検討部会について  
決定事項：会報を曾谷公民館に置き、閲覧可能とする。  
会則の決定 検討部会の決定

## 第 3 回

日 時：平成 19 年 10 月 27 日（土）10:00～12:00  
場 所：曾谷公民館第一及び第二研修室  
内 容（1）全体会  
役員選出 春木川調節池ゾーニングの配置検討について  
（2）検討部会  
自己紹介 部会長等選出  
決定事項：会長及び検討部会長が下記のとおり決定  
会長：平馬秀芳さん 副会長：後日選出  
自然復元ゾーン：箕輪一男さん 自然ふれあいゾーン：大木正雄さん  
多目的利用ゾーン：石島学さん 散策・休息ゾーン：塚田和男さん  
春木川調節池ゾーニングは次回へ継続検討

#### 第4回

日 時：平成19年12月15日(土)10:00～12:00

場 所：東国分中学校1階会議室

内 容(1)全体会

副会長選出 春木川調節池ゾーニングの配置検討について

決定事項：副会長に下記2名が決定

渡辺 和雄さん 瀬木 千春さん

春木川調節池ゾーニングは前回提案した3つの案のうち、「案1：散策・休息ゾーン三日月型」に決定

#### 第5回

日 時：平成20年1月26日(土)10:00～12:00

場 所：曾谷公民館第一及び第二研修室

内 容(1)全体会

春木川調節池散策・休息ゾーンの詳細形状について

今後のスケジュールについて

上部利用の検討における留意事項について

決定事項：春木川調節池の散策・休息ゾーンは、事務局から提案した案1「西側(国分川側)から36m、南側(住宅地側)から39m」とすることに決定。

#### 第6回

日 時：平成20年6月28日(土)10:00～12:00

場 所：曾谷公民館第一及び第二研修室

内 容(1)全体会

今後のスケジュールについて

上部利用の検討における留意事項について

検討部会における具体的な検討方法について

(2)検討部会

詳細な利用方法、運営管理方法に関する検討

(3)全体会

検討部会による検討結果の報告、調整

検討事項：各検討部会により実質的に初めての検討を行った。

## 第6回国分川調節池を育む会での検討部会の意見

第6回国分川調節池を育む会(6月28日開催)において、各検討部会から挙げられた意見。具体的検討の第1回目なので、今後もさらに検討を続けていく。

### 自然復元ゾーン

- ・全面立入禁止ではなく、人が出入り出来る場所を作り、自然と触れ合えるようにしていきたい。
- ・柵の設置について今後検討が必要。
- ・管理については、じゅん菜池を参考にしたい。

### 自然ふれあいゾーン

- ・子どもが入るため、水の深さを確認し、事故がないようにしていきたい。
- ・湧水の状況にもよるが、大柏川第一調節池緑地のように1mほどのマスを作り、水の流れを作り、浄化することが可能か確認したい。
- ・自然ふれあいゾーンの一番高いところに田んぼを作り、国分川から入った水が田んぼを通り春木川へ流れて行くという水循環を考えたい。
- ・昔からいた生き物(蛭等)を考えたい。
- ・自然ふれあいゾーンだけでなく、周辺の地域のことも考えながら、水の浄化、生き物を取り戻す等も総合的に考えなければならない。

### 多目的利用ゾーン

- ・基本的にスポーツ中心の利用形態にしていきたい。
- ・利用方法として、サッカー、野球(中学硬式)、少年野球(軟式)、ゲートボール、ソフトボール、グランドゴルフ、テニス、フットベース、ドッジボール等が挙げられた。
- ・スポーツ大会が出来るようなイベント広場としても活用したい。
- ・サッカーゴール、防球ネットなどを入れる用具倉庫を作りたいので、治水施設内に作れるか検討していきたい。
- ・野球が出来るように整備するならマウンドも作りたいという意見があったが、イベントをやる際にはマウンドはないほうがいいという意見もあった。

### 散策・休息ゾーン

- ・段差がない、一直線ではない園路を整備していく。
- ・ベンチやあずまやは必要最小限の整備とし、緑陰樹などで休息機能を担っていきたい。
- ・駐車場やトイレの配置は、調節池全体の中で配置を検討していきたい。
- ・バリアフリー、ユニバーサルデザインの考えで設計していきたい。
- ・ペットの扱い等も留意し、調節池全体で調整していきたい。

## 国分川調節池上部利用の検討に関する市川市の基本的な考え方について

国分川調節池上部利用の検討を進めるにあたり、次の事項を優先して配慮します。

### 1．治水機能の確保

国分川調節池は、真間川流域総合治水対策の一環として国分川及び春木川の洪水を軽減することを目的とした河川施設であるため、洪水の危険から地域を守る治水機能の確保を前提とした上部利用を進めます。

### 2．利用者の安全対策

当地は調節池を上部利用する施設であることから、利用者の安全対策を第一に考慮した上部利用を行います。

### 3．施設整備

調節池としての性質上、大雨による洪水が流入した場合の修復という観点から、基本的には修復に多額の費用を要することなく、速やかな復旧が可能となるような施設整備を行います。

また、整備に当たっては、できる限りユニバーサルデザインの導入を進めます。

### 4．周辺環境への配慮

当地がいつまでも地域のシンボルとして愛着がもてる場となるよう、周辺住民や学校、交通の状況等に与える影響に配慮した利用を進めます。

### 5．自然環境への配慮

生物多様性に及ぼす影響の軽減及び持続可能な利用を進めるため、各ゾーンごとの利用目的等に応じ、市川市自然環境保全再生指針に基づいた生物多様性の保全・再生に配慮した利用を行います。

## 検討様式(自然復元ゾーン検討部会)

(第7回国分川調節池を育む会)

	運営・利用		維持・管理		その他
	運営・利用形態	具体的な方法	維持管理項目	具体的な方法	
検討項目・注意事項	利用したい内容	運営形態(利用時間、利用対象など) 利用上のルール、制限 必要となる設備 など	管理の内容	管理の主体	洪水が予想される時の対応 洪水時、洪水後の対応 夜間(利用時間外)の対応 事故時の対応 駐輪場の設置 照明の設置(利用時間との関係もあるが、防犯上の観点から) など
前回の意見	全面立ち入り禁止ではなく、人が出入りできる場所をつくり、自然と触れ合えるようにしていきたい。				管理はじゅん菜池を参考としてはどうか。 柵の設置については今後検討が必要。
検討内容	なにを?(利用したい内容) ・自然と触れ合えるようにする	いつ?(利用時間)  だれが?(利用する主体)  どこで?(ゾーンのどの場所)  なぜ?(理由、目的)  どのように?(必要な設備、ルール) ・人が出入りできる場所を整備する	なにを?(必要な管理内容)	いつ?(管理の時期、時間)  だれが?(管理する主体)  どこを?(管理する場所)  なぜ?(理由、目的)  どのように?(必要な設備、ルール)	
	なにを?(利用したい内容)	いつ?(利用時間)  だれが?(利用する主体)  どこで?(ゾーンのどの場所)  なぜ?(理由、目的)  どのように?(必要な設備、ルール)	なにを?(必要な管理内容)	いつ?(管理の時期、時間)  だれが?(管理する主体)  どこを?(管理する場所)  なぜ?(理由、目的)  どのように?(必要な設備、ルール)	

## 検討様式(自然ふれあいゾーン検討部会)

(第7回国分川調節池を育む会)

	運営・利用		維持・管理		その他
	運営・利用形態	具体的な方法	維持管理項目	具体的な方法	
検討項目・注意事項	利用したい内容	運営形態(利用時間、利用対象など) 利用上のルール、制限 必要となる設備 など	管理の内容	管理の主体	洪水が予想される時の対応 洪水時、洪水後の対応 夜間(利用時間外)の対応 事故時の対応 駐輪場の設置 照明の設置(利用時間との関係もあるが、防犯上の観点から) など
前回の意見	自然ふれあいゾーンの一番高いところに田んぼを作り、国分川から入った水が田んぼを通り春木川へ流れていくという水循環を考えたい。  昔からいた生き物を考えたい。	湧水の状況にもよるが、大柏川第一調節池緑地のように1mほどのマスを作り、水の流れを作ることにより浄化することが可能かどうか。			子どもが入るため、水の深さを確認し事故がおきないようにしていきたい。  自然ふれあいゾーンだけでなく、周辺の地域のことも考えながら、水の浄化、生き物を取り戻すこと等を総合的に考えなければならない。
検討内容	<u>なにを?(利用したい内容)</u>  ・田んぼを作り、水循環を考える	<u>いつ?(利用時間)</u>  <u>だれが?(利用する主体)</u>  <u>どこで?(ゾーンの中のどの場所)</u> ・ゾーン内の一番高いところ  <u>なぜ?(理由、目的)</u>  <u>どのように?(必要な設備、ルール)</u> ・国分川から春木川への流れを作る	<u>なにを?(必要な管理内容)</u>	<u>いつ?(管理の時期、時間)</u>  <u>だれが?(管理する主体)</u>  <u>どこを?(管理する場所)</u>  <u>なぜ?(理由、目的)</u>  <u>どのように?(必要な設備、ルール)</u>	
	<u>なにを?(利用したい内容)</u>  ・昔からいた生物を考える	<u>いつ?(利用時間)</u>  <u>だれが?(利用する主体)</u>  <u>どこで?(ゾーンの中のどの場所)</u>  <u>なぜ?(理由、目的)</u>  <u>どのように?(必要な設備、ルール)</u>	<u>なにを?(必要な管理内容)</u>	<u>いつ?(管理の時期、時間)</u>  <u>だれが?(管理する主体)</u>  <u>どこを?(管理する場所)</u>  <u>なぜ?(理由、目的)</u>  <u>どのように?(必要な設備、ルール)</u>	

## 検討様式(多目的利用ゾーン検討部会)

(第7回国分川調節池を育む会)

	運営・利用		維持・管理		その他
	運営・利用形態	具体的な方法	維持管理項目	具体的な方法	
検討項目・注意事項	利用したい内容	運営形態(利用時間、利用対象など) 利用上のルール、制限 必要となる設備 など	管理の内容	管理の主体	洪水が予想される時の対応 洪水時、洪水後の対応 夜間(利用時間外)の対応 事故時の対応 駐輪場の設置 照明の設置(利用時間との関係もあるが、防犯上の観点から) など
前回の意見	基本的にはスポーツ中心の利用形態にしていきたい。 (サッカー、野球(中学硬式を含む)、ゲートボール、ソフトボール、グランドゴルフ、テニス、フットベース、ドッジボール等)  スポーツ大会ができるようなイベント広場としても活用したい。		サッカーゴール、防球ネットなどを入れる用具倉庫を作りたい。		
検討内容	なにを?(利用したい内容)  ・基本的にはスポーツ中心の利用形態とする。	いつ?(利用時間)  だれが?(利用する主体)  どこで?(ゾーンのどの場所)  なぜ?(理由、目的)  どのように?(必要な設備、ルール)  ・種目はサッカー、野球(中学硬式を含む)、ゲートボール、ソフトボール、グランドゴルフ、テニス、フットベース、ドッジボール等	なにを?(必要な管理内容)  ・用具等の管理	いつ?(管理の時期、時間)  だれが?(管理する主体)  どこを?(管理する場所)  なぜ?(理由、目的)  どのように?(必要な設備、ルール)  ・サッカーゴール、防球ネットなどを入れる用具倉庫を作る。	
	なにを?(利用したい内容)	いつ?(利用時間)  だれが?(利用する主体)  どこで?(ゾーンのどの場所)  なぜ?(理由、目的)  どのように?(必要な設備、ルール)	なにを?(必要な管理内容)	いつ?(管理の時期、時間)  だれが?(管理する主体)  どこを?(管理する場所)  なぜ?(理由、目的)  どのように?(必要な設備、ルール)	

	運営・利用		維持・管理		その他
	運営・利用形態	具体的な方法	維持管理項目	具体的な方法	
検討項目・注意事項	利用したい内容	運営形態(利用時間、利用対象など) 利用上のルール、制限 必要となる設備 など	管理の内容	管理の主体	洪水が予想される時の対応 洪水時、洪水後の対応 夜間(利用時間外)の対応 事故時の対応 駐輪場の設置 照明の設置(利用時間との関係もあるが、防犯上の観点から) など
前回の意見	段差がない、一直線ではない園路を整備していく。	ペットの扱い等も留意し、調節池全体で調整していきたい。  ベンチやあずまやは必要最低限の整備とし、緑陰樹などで休息機能を担っていきたい。  駐車場やトイレの配置は、調節池全体の中で配置を検討していきたい。			バリアフリー、ユニバーサルデザインの考え方で設計していきたい。
検討内容	なにを?(利用したい内容)  ・園路を整備していく。	いつ?(利用時間)  <u>だれが?(利用する主体)</u>  <u>どこで?(ゾーンのどの場所)</u>  <u>なぜ?(理由、目的)</u>  <u>どのように?(必要な設備、ルール)</u>  ・段差がない、一直線ではない ・ベンチやあずまやは必要最低限の整備とし、緑陰樹などで休息機能を担う。	なにを?(必要な管理内容)	いつ?(管理の時期、時間)  <u>だれが?(管理する主体)</u>  <u>どこで?(管理する場所)</u>  <u>なぜ?(理由、目的)</u>  <u>どのように?(必要な設備、ルール)</u>	
	なにを?(利用したい内容)	いつ?(利用時間)  だれが?(利用する主体)  どこで?(ゾーンのどの場所)  なぜ?(理由、目的)  どのように?(必要な設備、ルール)	なにを?(必要な管理内容)	いつ?(管理の時期、時間)  だれが?(管理する主体)  どこを?(管理する場所)  なぜ?(理由、目的)  どのように?(必要な設備、ルール)	